

# よりそ Side by Side

第33号

編集責任：筒井

編集担当者  
八口・筒井ボランティアさんからの投稿

## 大槌町のある家族の奇跡

ある家族の主人が仕事のためにタンカーで「海へ出でた。その時、津波が起きた。主人は沖合いで津浪が発生したのを知り、家族の安否に対する不安が頭を余切った。母と娘は自宅にいたため直ぐに安否の確認がされた。妻は車で海岸辺りに出かけていたため、音信不通で連絡がつかないからだ。釜石の方にも何度も連絡を入れ、確認してから見つからなかつた。その後も捜索を続け、半月後に妻と連絡がとれ、安心して主人は再びタンカーに乗組んだ。

岐阜県 加納圭三

## &lt;意訳&gt;

被災者だけではなく、ボランティアの私達に対しても宮中の方々は二次災害に遇わないよう、常に心配してくれたさております。

～～お知らせ～～

- 最近風邪が流行しています。気付いた人が窓の開け閉めをして換気を行なっていましょう。

- 人が減ったのにモヤもらず、体育館の荷物が減りません。普段から身の周りの片付けをしましょう。

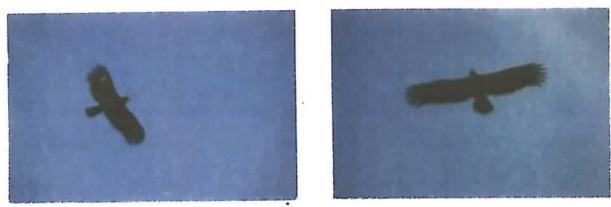
我らも祈りぬ  
北海道石川・公浩

手のまがひ  
足のまがひ  
あらぬよに

九重の奥の方は

## トビと優しい池さん

働いた後のお昼ご飯。午後に備えて栄養をとるためにも欠かせない時間である。しかし、その昼食をトビに取られたという男性がいた。彼は神奈川県の湘南から来いて、周囲のボランティアからは「池さん」の愛称で親しまれている。陸前高田で休憩時間に彼がお昼ご飯を食べていると、上空をトビが飛んでいることに気がついた。実は彼の住む湘南近くは、いたずらトビが多いことで有名で、「トビ」に注意」と書かれた看板も点在している程度。池さんは上空を覗くトビに警戒しながら1つおにぎりを食べていた。そして2つ目に手を伸ばしたその時、左手のおにぎりと右手に持っていた唐揚げをトビにひょいと取られてしまったのである。驚きはしたもの、トビは決して人を傷つけることはないから安心感はあったという。翌日、池さんはまた陸前高田で作業をしていた。昨日の出来事はすっかり忘れておやつを食べていると、右手に持っていたゼーブックバターチョコレートをいとも簡単に取られてしまった。「さすがに2日連続は取扱しかった」と照れ笑いを浮かべながら池さんは語る。その後のトビの行動を観察していると、トビはすぐに持っていたチョコレートをカラスに取られたようで、池さんはトビに対して怒りの感情などではなく親しいのようないい顔を覚えたという。実はトビはすごく弱いため、このように横取りされることもあるらしいのである。「私達人間が無警戒でいればトビにももっとチャンスがあるのになあ」と池さんは語った。 記者 八口



※6/5(日)ボランティアミーティングはPM15:30～④体育館

6/4(土)の宿泊：34人、活動：245人